キャラクター名
ソニア・ヴィンセント

プレイヤー名

メインクラス	メイジ	**Lv.1:**		**レベル**	2
サポートクラス	サモナー	**Lv.1:**	サモナー	**性別**	女性
称号クラス				**年齢**	14歳
種族	フィルボル			**境遇**	没落
出自（効果）	魔術師			**目標**	名誉

	筋力	**器用**	**敏捷**	**知力**	**感知**	**精神**	**幸運**
基本値	6	8	12	8	9	13	9
ボーナス	2	2	4	2	3	4	3
クラス修正	0	0	0	2	1	2	1
他修正			1				
能力値	2	2	5	4	4	6	4

HP	28
MP	58
フェイト	5

装備品		**射程**	**命中**	**攻撃**	**回避**	**物防**	**魔防**	**行動**	**移動**
右手	ナイフ	至近	0	3	0	0	0	0	0
左手									
頭部									
胴部									
補助									
装身具									
能力値			2	0	5	0	6	9	7
スキル								5	
その他									
総計(右)			2	3	5	0	6	14	7 m
総計(左)			2	0					
総計(両)									
ダイス数			2 d	2 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	4			4	+ 2 d
トラップ解除	2			2	+ 2 d
危険感知	4			4	+ 2 d
エネミー識別	4			4	+ 2 d
アイテム鑑定	4			4	+ 2 d
魔術判定	4			4	+ 2 d
呪歌判定					+ d
錬金術判定					+ d

所持品	
バックパック	
冒険者セット	
MPP*5	
使い魔（知力）	
ポーションホルダー	

現在重量： 5		
最大重量： 11	所持金： 100	預金・借金：

スキル名	**SL**	**コスト**	**タイミング**	**射程**	**対象**	**判定**	**制限**	**メモ**
ニンブル	★	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果： 作成時に行動値+3								
マジックフォージ	3	3	ダメ直前	-	自身	自動成功		
効果： 魔法攻撃のダメージに+[SL*2d]する。								
サモン・カトブレパス	1	8	メジャー	20m	範囲選択	魔術		
効果： 2D(無)、ダメ時放心付与								
アニマルパクト	1		マイナー				1/シナリオ	
効果： サモナースキルを場面選択化								
コンセントレイション	1		パッシブ					
効果： 魔術判定+1D								
フォースブリンガー	1							
効果： 無属性魔法ダメージ+SL*4								
ファミリア	1							
効果： 使い魔SL個取得								
マジックノウリッジ	1							
効果： 魔術関係の知力判定+1D								
フェイス：ダグデモア	1							
効果： 行動値+2								
マジックスピナーⅠ	1	1F						
効果： マジックフォージの使用回数1回復。1/シナリオ。								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

ソニア・ヴィンセント

概要：
「ざっこぉ、小手先だけ覚えても強くなんてなれないよぉ、基礎すかすか」
「惨めったらしくうずくまったって何も変わらないんだよ、立って戦え」
熱血にして俊傑にして高潔なメスガキ
没落した家を再興しその栄華で没落させた相手を復讐するのが目的

先祖から代々邪神の勢力と戦い続けてきた召喚士の一族であるヴィンセント家の一人娘。
ソニアは幼い頃から才覚を示し、周囲の誰もが一流の召喚士となることを疑わなかった。
しかし、その隆盛を面白く思わなかったものがいた。同じ召喚士の一族であるクロード家である。
クロード家の奸計は巧妙だった。張り巡らされた陰謀の糸は巧みに両親に邪神勢力との内通という濡れ衣をでっちあげ、証拠は捏造され、証言は歪められ、弁明の機会も与えられずに処刑台の露と消えた。
幼いソニアにはただ縄に縛られる両親を見上げることしかできなかった。
悪趣味なクロード家の当主は幼いソニアに追い打ちをかけた。まるで手品師がネタバラシをするように謀略の一部始終を嬉々として語ったのだ。彼女が何もできないと知り尽くしているがゆえに。憎いヴィンセント家の愛娘に、両親の死の真実を告げることによって絶望させるために。

その瞬間、ソニアの内側でなにかが弾けた。怒りとも悲しみとも違う、もっとドス黒くて深淵にも似た、魂の奥底を焦がすような激情。その激情におびき寄せられるように"停滞を招く捻れた傍観の獣"カトブレパスが応えた。
自らの激情を鏡写しにしたかのようなおぞましい邪眼の獣。その力のままに暴虐を振るえば、即死に至る邪眼の力を使えば、憎きクロード家の当主を死に至らしめることもできただろう。しかし、ソニアは手を下さなかった。